



2022年4月13日

各位

会社名 松竹株式会社
 代表者名 代表取締役社長 迫本 淳一
 (コード番号 9601 東証プライム、札証、福証)
 問合せ先 取締役 尾崎啓成
 (TEL 03-5550-1699)

業績予想の修正並びに関係会社株式評価損（特別損失） 及び貸倒引当金繰入額（営業外費用）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年4月14日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、当社は2022年2月期（2021年3月1日～2022年2月28日）個別決算において、下記のとおり関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額を計上することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2022年2月期通期連結業績予想の修正（2021年3月1日～2022年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	82,400	△5,400	△5,100	△5,100	△371.31
今回修正予想 (B)	71,830	△4,000	△2,800	△1,760	△128.33
増減額 (B-A)	△10,570	1,400	2,300	3,340	
増減率 (%)	△12.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年2月期)	52,434	△5,483	△5,610	△11,407	△830.50

(2) 2022年2月期通期個別業績予想の修正（2021年3月1日～2022年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	48,290	△4,140	△4,190	△303.35
今回修正予想 (B)	44,690	△1,090	△1,450	△105.14
増減額 (B-A)	△3,600	3,050	2,740	
増減率 (%)	△7.5	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年2月期)	31,063	△1,089	△5,024	△363.77

修正の理由

通期連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、映画館や演劇座館において規制の影響を受けた為に売上高は当初予想を下回る見込みとなったものの、映画関連事業において配給作品「ARASHI Anniversary Tour 5×20 FILM “Record of Memories”」が興行収入45億円を超えて邦画洋画を通して2021年実写映画1位となった他「99.9%-刑事専門弁護士- THE MOVIE」が大ヒットし、演劇事業でも歌舞伎座において1月から客席の収容率を上げるなど収益改善に努め、全社的にコスト削減を推進した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の赤字幅が当初の予想より大幅に縮小する見込みとなりました。通期個別業績予想も同様に経常利益、当期純利益の赤字幅が当初の予想より大幅に縮小する見込みとなりました。

以上の結果、当該業績予想を上方修正いたします。

2. 関係会社株式評価損の計上について

当社の関連会社であるBHD Media Joint Stock Companyの株式価値が減少したことに伴い、同社株式を保有する連結子会社であるST Media Entertainment Pte. Ltd.の株式について、実質価額が著しく低下したため、当社個別決算上、減損処理を実施し関係会社株式評価損889百万円を特別損失として計上いたしました。また、当社の非連結子会社であるNihodo Media Pvt. Ltd.の株式について、実質価額が著しく低下したため、減損処理を実施し関係会社株式評価損22百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、上記のST Media Entertainment Pte. Ltd.の株式に関する関係会社株式評価損は個別決算において特別損失として計上いたしましたが、連結決算上相殺消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

3. 貸倒引当金繰入額の計上について

当社の連結子会社である株式会社松竹撮影所及び株式会社松竹映像センターにおいて、新型コロナウイルス等の影響による財政状態の悪化を踏まえ、2022年2月期の個別決算において当該2社への貸付金について合計770百万円の貸倒引当金繰入額を計上いたしました。

なお、上記の貸倒引当金繰入額は個別決算において営業外費用として計上いたしましたが、連結決算上相殺消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上